

HISTORY of
SEA PYRAMID
2006 ➡ 2011

海のピラミッド 5年の歩み

熊本県 宇城市 三角

1990年、熊本県が約3億5千万円を投じてアートポリス事業の一環として建設。高さ25m、直径34mの円錐形の建物。

“よみがえる港の
にぎわい”

100年前の
開港スピリッツが
今よみがえる

1. 三角港フェリーターミナル
整備のあらまし

三角港は、熊本県の中央部、宇土半島の先端に位置し、明治20年(1887)に西港地区が開港以来、熊本県における外内貿易物の流通基地として、また島原とを結ぶ国道57号フェリーや天草諸島との連絡船の基地港として、九州観光の重要な役割を果たしている港です。

本港の原計画地区は、三角駅との接続を考えて、大正13年(1924)から、港灣改修事業を行ってきただけところで、陸上の5頭用貨物改修は官営施設が当然としており、また海上においては、貨物船・フェリー・旅客船等が混在していたため、昭和55年に既存の5頭用施設を前出しする改修計画を定立、フェリー及び旅客船を専用所に集約することとなり、それに伴い周辺の活性化を図れるような中核施設として円盤形の旅客上屋を建設することとしたものです。

上屋の設計にあたっては、フェリーが阿蘇一帯一顧を結ぶ九州航路の結節点であることから、単なる機能性を越え九州航路を象徴する海上三角形をイメージする観光シンボルとすべく、小国ドーム等一連の木造建築（小国ドーム）で1989年日本建築学会賞を受賞した森 祥栄氏の設計によるものです。そのイメージは、海上にのみ巻貝をかたどっており、内外部の展望を良くするため、二重らせん構造のスロープを備え、建築技術上也非常に独創的なものとなっています。

また、限では、「後世に残せるものは文化しかない」という考えのもとに、世界から英知を結集して文化資産となる質の高い建物等を建設し、都市・環境デザインの向上を目指して「くまもとアートポリス」を実施しており、本施設はその対象プロジェクトに選定されています。

このターミナルは、フェリーのみならず、JR三角駅、バスターミナルにも近接しており、文字通り海陸交通の結节点として、天草海洋リゾートの表玄関となるものです。さらに、施設内には、イベント対応型ですので、コンサート、展示会、展覧会、物産販売等もできるようにしていますので、創意工夫により、三角港の賑わい空気の演出にも役立つものと思われず。



2. フェリーふ頭計画の概要

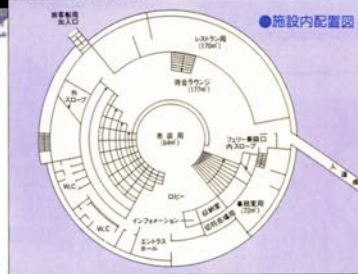
事業主体	熊本県(土木部港湾課)
事業年度	昭和55年度～平成元年度
事業費計	約17億円

[illegible]

- 係留岸壁／(－4.5m)延長77m(フェリー用)
- 物盛場／(－3.0m)延長80m(定期旅客船用)
- 泊地(浅瀬)／面積＝4,400㎡
- 可動橋(フェリー用)／1基
- ふ頭用地／面積＝7,058㎡
- 駐車場／1面

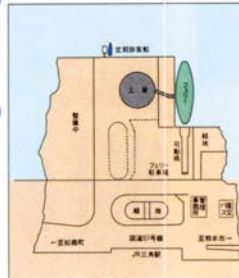
旅客上屋

- 構造…鉄筋コンクリート平屋建(円錐形)
- 高さ…約25m 直径…約34m
- 建床面積…約785㎡
- 建設費…3億5千万円
- 建設期間…平成元年3月～平成2年1月
- 施設内容…待合室(階段含む) 404㎡
 - レストラン 170㎡
 - 事務室 72㎡
 - 売店 64㎡
 - その他(機械室等) 75㎡
- 付属施設…人動機(フェリー乗降用)
会食設備



3. 三角港を利用するフェリー、客船等

- ① 国道57号線フェリー
(三角—島原) 渡丸九州船 6便/日
 - ② 島原航路
(三角—松山) 松山汽船 3便/日
 - ③ 龍ヶ崎航路
(三角—龍ヶ崎) 佐藤 盛光 6便/日
 - ④ 瀬波航路
(三角—瀬波) 瀬波島原船 2便/日
 - ⑤ 瀬波船
(三角—戸越) 三 角 可
- 年間利用人員/日
推定約50万人(平成5年推定)



KUMAMOTO-MISUMI



建設から15年後。

2005年8月、
経営不振から
フェリー会社が
航路を廃止。

1年後、
唯一のテナント
だった売店も
赤字経営により
撤退。

2006年8月、
閉鎖。

[illegible]

熊日新聞 2006年12月2日 夕刊



約2,000人が来場

NHKとKAB(熊本朝日放送)では、
夕方ニュース番組内で
海のピラミッドから生中継。

また、当日の様子は、熊本の
全テレビ局のニュースで報道。

(第3種郵便物認可) 297号 (日刊)

ピラミッド 幻想的に

宇城市三角町

竹灯ろう、ランタンで彩り

「煌きの幻灯祭」 23日開催

宇城市三角町で二十三日、海のピラミッドを会場に「煌(きら)めきの幻灯祭」が開かれる。住民でつくる同祭実行委員会(委員長、三角隆史・町商工会青年部長)が、「ピラミッドをみかえらせよう」とランタンやキャンドル、竹灯ろうなどで彩る。

「海のピラミッド」は一九〇(平成二)年、県がアートボリス事業で建設したが、昨八月、三角島原フェリーの航路廃止に伴い、売店が撤退して「空き家」になっている。

「煌きの幻灯祭」は、九州新幹線の全線開通効果を引き出す新幹線くまもと創つくプロジェクトの一環として、三角町商工会メンバーや行政職員、住民ら二十七日で実行委を結成した。

同祭は、竹を使い、高さ一・二メートルの灯ろう約五十本を制作し、周辺の道を彩る。ピラミッドの外側は百五十灯のランタンを掲げ、ランタンも

内側のらせん状通路に沿って三千個、手すりには三十センチほどの白木を立て、点灯する。

電飾ではなく、本物の火で希望の明かりをともわす(実行委)と計画。十七日夕にランタンを試験点灯、委員をイメージしたピラミッドが幻想的に浮かび上がった。

二十三日は午後五時開始し、女性客の先着三百人に三角旗の旗をプレゼント。七色のハーレディも振る舞う。同六時から内側のキャンドルを点灯し、合唱グループ「ピラミッド」の演奏などがある。三角委員長は「今日は後世にピラミッドを残すイベントを考え、多くの人に足を運んでもらい、地域の活性化につなげたい」と話している。(森本修代)

熊日新聞 2006年12月19日 朝刊

(第3種郵便物認可) 297号 (日刊)

三角の新名物 さんかくおむすび

「緑むすび」の願いも込めて
地元の味 23日デビュー

宇城市

地元で採れた材料を使った「さんかくおむすび」が、23日デビューした。おむすびは「海のピラミッド」で結核式を挙げる正垣さん夫婦が考案した。おむすびは「さんかく」(三角)の形をしたおむすびで、地元産の食材を使った。おむすびは「さんかく」の形をしたおむすびで、地元産の食材を使った。

宇城市三角町の海のピラミッドで23日夜、「煌(きら)めきの三角幻灯祭」が催され、キャンドルや灯ろうの火がともされた幻想的な雰囲気の中、結婚式が執り行われた。

同祭は、三角島原フェリー航路の8月の廃止に伴い「空き家」となった「海のピラミッド」を活用しようと、住民や行政職員らでつくる同祭実行委員会(三角隆史委員長)が企画。「三角でおむすびを食べたカップルは深いきずなで結ばれる」との願いを込め、三角形のおむすびを考案して売り出した。

カップルの第1号として、同祭実行委メンバーで自営業の正垣良洋さん(35)と山口則子さん(32)の結婚式が祭りの最中に開かれた。事前に知らされていない企画で、驚きにどよめく約2000人を前にして、正垣さんと山口さんは愛を誓い合った。

実行委は「三角でおむすびを食べて結婚するカップルの第2号、第3号を出したい」と意欲を示していた。(森本修代)

海のピラミッドで挙式

宇城市三角町「縁結び」第1号誕生

海のパラミッドで開かれた「煌めきの三角幻灯祭」で結婚式を挙げる正垣さん夫婦
—宇城市三角町

熊日新聞 2006年12月24日 朝刊

地元商工会メンバーの
結婚式も開催。

「幻灯祭」



3,000灯の
キャンドルと
ランタンが
彩る幻想の一夜

人の絆で灯される炎煌めく中、
ピラミッドが復活する日、
伝説の町・「三角」が再び蘇る。
貴方も歴史の証言者になりませんか？



結婚式



聖歌隊



2006.12.23 (祝)



祝砲の花火

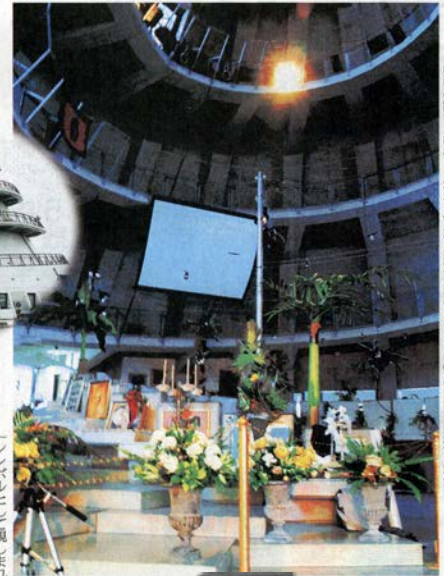


「クラブ」に変身 ピラミッド

土曜の夜は、若者集合!!



宇城市 三角町



照明の設備も終り、花などで飾られた「海のピラミッド」の案内「宇城市三角町」

フェリー航路の廃止を機に閉ざされていた宇城市三角町の元フェリー乗り場「海のピラミッド」が、地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。土曜の夜は、若者集合!!と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。土曜の夜は、若者集合!!と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

宇城市三角町の「海のピラミッド」は、フェリー航路の廃止を機に閉ざされていた。地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

宇城市三角町の「海のピラミッド」は、フェリー航路の廃止を機に閉ざされていた。地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

案内の「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。土曜の夜は、若者集合!!と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

県内総合 16

平成19年(2007年)6月26日 火曜日

ローカルワイド

- 八代支社 ☎0965-32-7161 FAX 0965-32-7495
- 水俣支局 ☎0966-63-3445 FAX 0966-63-4511
- 芦北支局 ☎0966-82-2070 FAX 0966-82-2088
- 宇城支局 ☎0964-32-0144 FAX 0964-33-5465
- 宇土支局 ☎0964-23-1225 FAX 0964-23-1335
- 人吉総局 ☎0966-23-3302 FAX 0966-23-5631
- 球磨支局 ☎0966-42-2161 FAX 0966-42-3045
- 天草総局 ☎0969-22-2413 FAX 0969-22-4404
- 牛深支局 ☎0969-73-2380 FAX 0969-73-2218
- 上天草支局 ☎0964-56-5570 FAX 0964-58-5780



こんにちは

●みなまた環境テクノセンター所長の松木幸蔵さん(45)
水俣市から今年4月に派遣された。「センターは環境に配慮した新産業を生み出すのが役割。設立から8年たちますが、現状は地場企業に十分認知されていない。まずは気軽に足を運んでほしい。」



環境に配慮し
産業生み出す

でもらえる場所にしたい」
藻場づくりで水俣湾再生に取り組む漁協などを支援するため、専門家のセミナーも開催した。「海の可能性を再確認できました。漁業者も興味を持って話を聞いてくれたと思います」
◇まつき・こうぞう
＝水俣市牧ノ内

宇城市の「海のピラミッド」 夜はクラブに変身



クラブとして生まれ変わり、若者らでにぎわった「海のピラミッド」
＝宇城市三角町

フェリー航路の廃止に伴い閉鎖されていた、宇城市三角町のフェリー乗り場「海のピラミッド」が、地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。土曜の夜は、若者集合!!と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

宇城市三角町の「海のピラミッド」は、フェリー航路の廃止を機に閉ざされていた。地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

宇城市三角町の「海のピラミッド」は、フェリー航路の廃止を機に閉ざされていた。地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

時代小説 地元舞台に

八代市の黒川さん
中九州短大講師の黒川

宇城市三角町の「海のピラミッド」 若者の人気クラブに 大みそかにイベント

フェリー航路の廃止に伴い閉鎖されていた宇城市三角町のフェリー乗り場「海のピラミッド」が、地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

宇城市三角町の「海のピラミッド」は、フェリー航路の廃止を機に閉ざされていた。地元有志によって「土曜の夜は、若者集合!!」と名づけられ、若者が集まる「クラブ」に変身した。

市長室から



宇城市長 阿曾田 清

過去に引きずられるのではなく、新たな発想で三角港再生へ

7月16日(月)の国民の祝日「海の日」に合わせて、三角西港築港120年記念式典を開催いたします。現在、明治の3大築港は、西港だけが残存していて、福井県の三国港は漁港となり、宮城県の野蒜(のびる)港は廃港となっています。

この西港が今、港として脚光



三角西港(海側から見た浦島屋)

を浴びています。それは「世界産業遺産」への名乗りをあげてからであります。文部科学省文化庁において審議され、平成19年度に候補に挙げられ、ユネスコへ申請されるかどうかにかかっている年でもあります。そのため、7月16日の記念式典には、多くの市民の参加をお願いいたします。

この120年を記念して、新たに振興策を打ち出そうと考え、地元住民の思いを生かしながら進めている取り組みを紹介したいと存じます。

昨年クリスマススイブに開催された「幻灯祭」は、熊本市で結婚式やイベントなどをされているスターライト様に支援をお願いし、そして地元青年やボランティアの方々の協力により、2000人近い方が集まり大成功でした。まさに、廃墟の建物が不死鳥のごとく一夜よみがえったのです。

廃墟の建物が新たな施設としてよみがえることは良く話題に上ることがあります。この廃墟のピラミッドを生かし、まちの活性化につなげられないかと思ひ、幻灯祭実行委員会の方々に話したところ、自分たちだけではできないがスターライト様力を借りて多くの若者が集まる



会場となる海のピラミッド

港町を作りたいという思いから、パーティー形式のイベント開催を決定し、7月14日(土)の夜からスタートすることになりました。毎週土曜日に実施し、夜市も開かれる予定です。

また、15日の日曜日からイルカウォッチングが三角港を発します。併せてビール列車も運行されJR三角線の利用促進が期待できます。

三角西港築港120年記念事業は、新たな港町づくりの第一歩と考えております。市民の皆さまのご支援・ご協力を重ねてお願いいたします。



NHK総合「クマロク！」▽復活！港のシンボル



2008年1月16日 放送

くまもとアートポリス検証の旅 終

機能停止編『三角港フェリーターミナル』

市民の愛着深い港のシンボルは後世に残る文化的資産となるか

古田孝 | ルポライター

ふるた・たかし | 1959年熊本県生まれ。1983年日本大学法学部卒。
日刊建設通信新聞記者を経て、フリーに。現在は熊本に帰郷し、地方発の社会問題などを提起する
写真＝著者

人 気のないうちの駐車場の片隅に、西日に照らし出された三角形の建物が寂しく佇む。

今から2年半前の2006年夏、ここ熊本県宇城市三角町と長崎県島原市を結ぶフェリーの運航が廃止となり、待合所とみやげ物店として利用されていた三角港フェリーターミナルが閉鎖された。三角錐のユニークな形から通称「海のピラミッド」と呼ばれ、この町の人たちに親しまれてきた。現在、空き家状態となった建物は展望台へ続く回廊にトレーニングウェアを着た中高年がジョギングコース代わりに駆け上がる姿や、フェリー乗り場だった駐車場に若者たちが格好のスケートボードの練習場と化した光景を見るだけである。くまもとアートポリス事業で、初めて機能停止となった施設だ。

三角港フェリーターミナルは20年ほど前の1990年に完成した。アートポリス事業の初期に建設されたもので、熊本市出身の葉祥栄氏が設計を手掛けた。独特な三角錐のデザインは海をモチーフにした施設から巻貝をイメージしたという。建物を紹介したリーフレットによると、こう記してある。

「巻貝と同じように内外の二重螺旋のスロープの床版によって補強されたコンクリート外殻構造で(中略)歴史ある港のランドマーク、町おこしのシンボルとして視覚的に認識され、また景観を形成する一つの環境装置としての機能を果たしている」

「海のピラミッド」の建つ旧・三角町(2005年に周辺4町と合併し、現在は宇城市)は歴史深い町である。熊本県の地図を横顔に例えると、口を尖らせたような形をした宇土半島の先端に位置する。半島の先・有明海へ臨む三角西港には1887年に

つくられた石積みの船着場が残り、近代化政策の一環として築造された「明治三大築港」(福井県三国港・宮城県野蒜港とともに)の一つに数えられている。今も当時の風情が漂う石造の埠頭や古い水路がそのままの状態を保たれ、日本が近代化へと向かっていった軌跡の現存するケースとしては全国的にも珍しいという。地元・宇城市では世界文化遺産の登録を目指している。

三角西港の開港後、2kmほど離れた場所(三角港フェリーターミナルのある三角東港)に鉄道が敷かれると、離島だった天草の島々や長崎県の島原に向かう貨客船が就航した。その連絡地として東港は栄えていった。

「実はもともとここは農業で支えられてきた地域ですが、鉄道(JR三角線)が開通し、東港に貨客船の定期便が就航すると、陸路と海路をつなぐ結節点として商売が活況していった。東港周辺には天草や島原へと向かう貨客船の乗降客相手に旅館が開業し、港周辺には商店が競うようにして建ち並びました。列車が三角駅に到着すると、出航する船に向かって一目散に駆け出していくお客さんの姿をよく見掛けたものです」

そう地元商工会の元役員は述懐する。

貨客船からフェリーに海上交通の主役が交代した1964年、700t級の大型フェリー「眉山丸」が島原へ、そして「緑川丸」が天草の島々へと航行するようになった。三角までの陸路は国道57号線が延びており、フェリーに乗り換えて渡海するこの航路は「海の57号線」と呼ばれ、大層賑わったという。天草地方が観光地として脚光を浴びた時代には、フェリーの乗船客は年間120万人を突破する時代もあった。しかし1996年に天草五

三角港フェリーターミナル
所在地＝熊本県宇城市三角町

設計＝葉祥栄
用途＝待合所
施工＝建築：岩永組、電気：飯田電設、衛生：第一設備工業
構造・規模＝鉄筋コンクリート造・地上1階
敷地面積＝1,520㎡
建築面積＝865㎡
延床面積＝1,052㎡
施工期間＝1989年3月～1990年2月
総工事費＝320百万円



から空き状態のフェリー乗り場の隣に建つターミナル施設

橋が完成し、離島だった天草の島々が道路でつながると「車社会の時代」が到来し、フェリーの利用客は徐々に減っていった。そして町も次第に活気を失っていく。

観光ブームの熱が冷め、三角港フェリーターミナルの完成した1990年にはフェリーの利用客は年間12万人台まで落ち込んでいた。さらに年を追うごとに減少し、2005年にはとうとう7万台となった。近年に至ってはフェリーの燃料となる原油の高騰で経営難に拍車がかかり、40年余にわたって航跡を残してきた海の道にもついに幕の降りる時がきた。賑わったフェリーの乗船客の姿はなく、町の物産品を販売していたテナント店は撤退を余儀なくされた。そしてターミナルもいよいよ閉鎖へと追い込まれていった。船も車も人の姿もなくなったターミナルの建物を眺めながら、港近くで細々と営業を続ける商店主が過ぎ去りしバブル末期を語る。

「『海のピラミッド』ができて観光客から『面白い建物ですね』とよく声を掛けられました。電話で『三角港に行くにはどうすればいいですか』と尋ねられると『海のピラミッドのある場所です』と答えたものです。すると『あー、あの三角の建物ですね』とすぐに分かってもらえました。最初は町の人たちも『何か変な建物ができだな』と首を傾げる人もいましたが、今ではなくてはならない町のランドマークになっています」

独特な三角錐のデザインも「単なる四角いコンクリートの建物より、かえってああい（ユニークな）建物の方が町のシンボルになって良かったのではないのでしょうか」と、今では愛着さえ覚えている様子だ。

ターミナル閉鎖後、この建物を活用しようと2006年暮にイベントが開催された。町の商工会青年部が中心となって「幻燈祭」と称するクリスマスイベントを実行した。ピラミッド外壁に設けられた回廊に灯りを点し、建物の中では地元の合唱団によるミニコンサートや踊りが披露された。その日の「サプライズ企画」として結婚式が行われるなど、町の内外から2,000人を呼び寄せる活況ぶりだった。主催者側によると「毎年7月に開催している『港祭り』（1万5,000～2万人の観光客）に次ぐ入出を記録しました。ですから今後も引き続きやっていきたい」と語っていたが、残念ながら昨年夏の「幻燈祭」は西港に会場が移されている。

2006年夏からは暫定利用という形で熊本市にあるイベント

会社を中心となり、若者をターゲットにした音楽や飲食を楽しむクラブを週末限定で開いている。「1日400人ほどのお客さんが入る日もありましたが、収支は楽ではありません。それでもがらんどうの状態に放置しておくより、人の手が入って使っていた方が建物の傷みは防げるようです」と、主催者の1人は話している。

建物を管理する市でも新たな活用策を模索しているが、手立ては見付かっていない。地元関係者によると「何とか建物は残しておきたい」という意向が強く、「本来であればフェリーの就航を引き継いでもらえる海運会社が出て来てくれれば、ターミナル施設も復活できるのですが…」と再びフェリーの就航する日を待ち望んでいる。しかしながら、見直しは極めて厳しい。

一方、明治の趣を漂わせる洋館が残る三角西港では開港120周年を記念して一昨年、イベントが華々しく開催された。舞台となったのは西港だけでなく、閉鎖されたフェリーターミナルのある東港とも連携し、三角の「新旧の顔」をアピールした。そうした熱意が伝わってか、週末夜間だけ開業しているクラブにも足を運ぶ人たちの数が増えてきているという。「今後は夜だけでなく、昼間の活用法も考えていきたい」とイベント関係者は語る。

「歴史ある（三角）西港には年間30万人の観光客が訪れている。だから西港だけでなく（フェリーターミナルの残る）東港にも来てもらえるよう、東西の港をつないだ観光ゾーンの整備が必要です。背後の天草地方に年間300万人もの観光客が訪れていることを考えれば、この観光客を何とか三角の町にも立ち寄ってもらうようにしていかなければなりません」（観光団体関係者）

図らずも東港に建つフェリーターミナルは閉鎖の悲運に追い込まれた。だが地元の行政や商工団体では何とか建物を存続させるため、新たな活用策が浮上してくる日を待ち望んでいる。

くまもとアートポリス事業の掲げる「後世に残り得る文化的資産」という遥かなる目標。120年を超えて歴史を刻み続ける三角西港と同様、機能を失った三角港フェリーターミナルも、この町に文化の刻印を残していくことができるのか…。それを問うているように思えてならない。



120年の歴史を刻む石積みの三角西港。右奥には天草五橋が見える



まるで巻貝の中に入っているような内部空間



桟橋側から見た夕暮れ時の風景は哀愁感さえ漂っていた

THE ROCK

THE ROCK
 9.Dec.Sun.at PYRAMID DJ cafe restaurant
 三角の地にビルドアップ！ そう、このPYRAMID DJ cafe restaurantは、三角の頂点の最上層に建てつく、最上級のライブハウスとはひと味違った空間で、最上級のパフォーマンスを楽しむ、火野った音楽海軍に一杯酔っ払いれば、ライブセッションが毎夜あるアツい場所、これからも最エントランス！

abesow / Rin / Tatsuya / TAKURO / Natty Dread / Yellow Label
Najagara / SP-K / Murder Lian / Showcase InFi / Bug / BitMach
IV/Doop Ent / and more



69 no!

no! 2008年1月号

「"とらい☆あぐる"」

「"とらい☆あんぐる"」



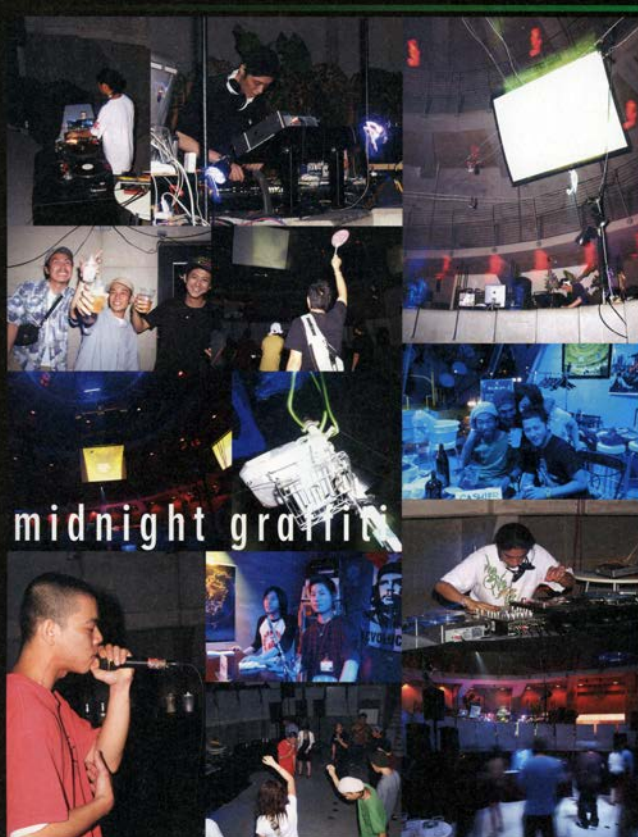
no! 2009年5月号



テレビCM



KAB(熊本朝日放送)放映



CLUB PYRAMID 1st Anniversary

CLUB PYRAMID 1st Anniversary 29 Jan Sat at CLUB PYRAMID

会場はめでたく1周年を迎えたあのヒカフィールドを買取で行われたイベントに参入して参りました。祝祭気なまでの広々とした会場で、オーナメンツ等は揃って自前にも飾りモノでした。ボー

no! 2008年8月号



FMK
エフエム・クマモト

2007年12月7日
生出演

開業当初の印刷物

開業当初の広告



ポスターA 100枚 作成&掲示



貸切案内チラシ 500枚 作成&配布



2007年6月25日発売「タンクマ」広告



ポスターB 50枚 作成&掲示



ポストカード 5,000枚 作成&配布



2007年8月1日発売「no!」広告



チラシ 10,000枚 作成&配布



貸切案内パンフ(全12頁) 1,500部 配布



三つ折り名刺サイズ 3,000部 作成&配布

2007年



11月1日発売「no!」広告



12月1日発売「no!」広告



6月23日(土) 来場：約150人

6月30日(土) 来場：約50人

7月7日(土) 来場：約60人

7月14日(土) 来場：約70人

7月21日(土) 来場：約60人

7月28日(土) 来場：約90人

8月11日(土) 来場：約70人

8月4日(土) 来場：約60人

8月18日(土) 来場：約60人

8月25日(土) 来場：約80人

9月1日(土) 来場：約40人

9月8日(土) 来場：約60人

9月15日(土) 来場：約50人

8月22日(土) 来場：約40人

9月29日(土) 来場：約40人

10月6日(土) 来場：約50人

10月13日(土)
「ALL GENRE PARTY」
来場者：約70人

10月20日(土)
「REGGAE PARTY」約60人

10月27日(土)
「EARDRUM」約50人

11月3日(土)
「LOW RUSH」約40人

11月10日(土)
「Diggin Deeper Music Works
PARTY」約80人

11月17日(土)
「楽脳motheR」約60人



11月24日(土)
「SWEET GRASS」約100人

12月1日(土)
「LOW RUSH」約30人

12月8日(土)
「Diggin Deeper Music Works
PARTY」約80人



12月9日(日)「The Rock」約200人



12月23日(日)「MISUMI 幻灯彩」



12月15日(土)「宇宙集会」約150人



12月22日(土)
「EARDRUM X'mas PARTY」約60人



12月23日(日)、24(月)
「KIN205 赤い惑星の蛇の日」約100人



12月29日(土)「BONET.」約80人

12月31日(大晦日)
「PYRAMID COUNTDOWN PARTY」
来場者：約110人

2008年



2008年1月1日発売「no!」広告

1月5日(土)
「PYRAMID NEW YEAR PARTY」
来場者：約50人

DIGGIN' DEEPER
1月12日(土)
「Diggin' Deeper Music Works PARTY」
来場者：約60人

SWEET GRASS
1月19日(土)
「SWEET GRASS」
来場者：約120人

1月26日(土)「LOW RUSH」約40人

1月12日(土)「LOW RUSH」約60人

2月2日(土)「ハウスマニア」約50人



2月3日(日)
「THE ROCK - Bad Fellas online九州tour」来場者：約150人

2月9日(土)「EARDRUM」約50人

2月16日(土)「Diggin' Deeper Night」
来場者：約80人

2月23日(土)「Uki-Uki☆ぼーと」
来場者：約60人

3月1日(土)「SWEET GRASS」
来場者：約120人

3月8日(土)「熊本bankband!」約60人

3月15日(土)「SHODO衝動」約60人

3月22日(土)「∞+1」約40人

3月29日(土)
「REGGAE NIGHT IN PYRAMID」
来場者：約70人

4月5日(土)「ハウスマニア」約50人

4月12日(土)「Seisyo night」約100人

4月19日(土)
「REGGAE NIGHT IN PYRAMID」
来場者：約60人

4月26日(土)「Nebraska」約50人

5月3日(土)「EARDRU」約40人

5月10日(土)「Diggin' Deeper Night」
約70人

5月17日(土)「就職活動2009」約30人



5月24日(土)
「SOMETHING ABOUT AS」
来場者：約100人

2008年5月26日(月)午後8時50分
三角港

5月31日(土)「八代NIGHT」約60人



6月7日(土)
「ハウスマニア」
約40人



6月14日(土)
「refrain 001」
約60人



6月21日(土)
「Club Kumamoto
～ Don't Stop
The Music ～」
来場者：約80人



ポストカード 10,000枚配布



6月28日(土)1周年記念イベント
「WATER PLANT」約170人



2008年7月1日発売「no!」広告



7月5日(土)
「TAKIN' OVER」
約80人



7月12日(土)
「Around
The World～
GROWRICH
RECORD 1st.
Anniversary～」
約70人



7月19日(土)
「SWEET
GRASS」
来場者：約120人



7月26日(土)
「Macka Fat」
来場者：約70人



7月27日(日)「夏の笑音祭り!」
来場者：約100人



7月27日(日)
「三角港祭り花火大会
アフターパーティー」約150人



宣伝カー 完成

8月2日(土)「DOOP ROCK」約60人



8月9日(土)
「DOOP
ROCK
VOL.2」
約50人



8月14日(土)
「choco
sunday」
約50人

8月23日(土)「∞+1 VOL.2」約50人

8月30日(土)「EARDRUM」約40人

9月6日(土)「EARDRUM-SPECIAL-」約80人

9月13日(土)「邑火」来場者；約60人

9月20日(土)「SWEET GRASS」約130人

9月27日(土)「DOOPROCK VOL.3」約70人

10月4日(土)「Resident Night」約60人



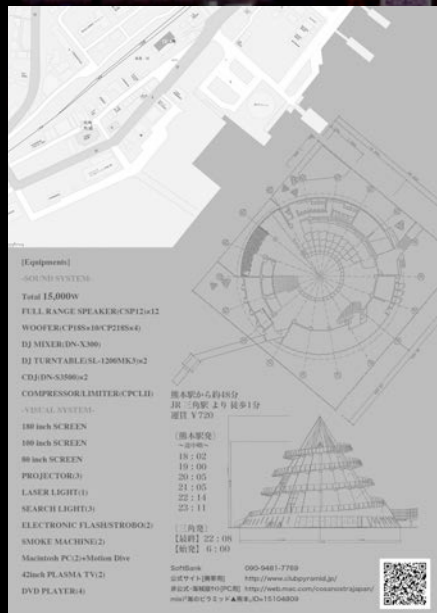
10月11日(土)

「choco sunday」

約80人



↑「会場使用料0円」チラシ5,000枚作成↓



10月18日(土)「DOOPROCK VOL.4

-火の国レゲエ祭『前夜祭』-」約100人



10月25日

「火の国レゲエ祭」

来場者；約400人



屋外には夜店も出店

11月1日(土)「八代Night」

来場者；約60人

11月8日(土)「Resident Night」

来場者；約50人



11月15日(土)「YURUNITY」

来場者；約70人



11月22日(土)

「HUNDS UP」

約180人

11月29日(土)「Free! Free! Free!」

来場者；約30人

12月6日(土)「【FREE】@PYRAMID」

来場者；約60人

12月20日(土)「△EARDRUM△」

来場者；約50人

12月27日(土)「三角HOUSE NIGHT」

来場者；約60人

12月31日(大晦日)

「NEW YEAR COUNT DOWN PARTY」

来場者；約150人



カウントダウンと同時に
屋上から花火を打ち上げ

Kumamoto ALL STARS DJ

MC, Dancer, Singer, VJ

前売り ¥1,500

当日 ¥1,800

(1ドリンク付)

前売券はポスター掲示店
フライヤー配布店
出演者もしくは
クラブピラミッドで発売中!

※JRご利用の方は入場無料!



ハンドメイド
アイテムや
MixCDの販売、
有名飲食店による
フードコートもあり

海のピラミッド
@熊本県 宇城市 三角

SoftBank 090-9481-7769
<http://www.clubpyramid.jp/>



Kumamoto ALL STARS DJ

2009. 3.21 SAT. 21:00~6:00 Dancer Singer MC VJ

27名の DJ.
Hip-Hop, R&B,
House, Techno,
16組の MC, Dancer,
Singer, VJ が総結集し、
西日本最大のクラブで
4フロアに2万ワットの
爆音を轟かせる!



CLUB PYRAMID

2009年3月21日(土) 2周年記念イベント



2009年

1月3日(土)「新春event」約40人

1月10日(土)「NECESSARY」約80人

1月17日(土)「YURUNITY」約50人

1月24日(土)「Fortune」約70人

1月31日(土)「Mirage」約50人

2月7日(土)「FREE」来場者；約60人

2月14日(土) 「Saturday night dance party」 約80人

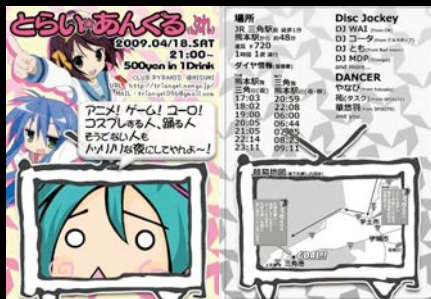
2月21日(土) 「SPIN DA FUCKIN SHIT!!」 約60人

2月28日(土)「Shall We Dance」来場者；約70人

3月7日(土)「FREE」来場者；約50人

4月4日(土)「free」来場者；約40人

4月11日(土) 「spin da fuckin」 約60人



4月18日(土)「とらい★あぐる」約250人



4月25日(土)「三角NIGHT」約70人

5月2日(土)「free!!」来場者；約60人

5月9日(土)「Welcome」約50人

5月16日(土)「奏 Vol.1」 約50人

5月23日(土)「DOOP ROCK」約70人

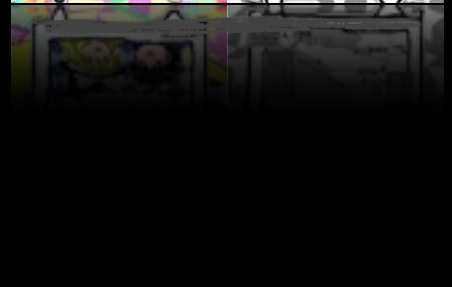
5月30日(土)「GOLDEN TIMES」約80人

6月6日(土)「FREE」来場者；約40人

6月13日(土) 「Welcome Vol.2」 約50人

6月20日(土)「とらい☆あんぐる」

来場者；約300人



3月14日(土)「FUNKY A GO GO VOL.5」約60人

3月28日(土)
「★BLOCK 9SLAM★JUNKIE★DJ's ALL STAR★」
来場者； 約60人





6月27日(土)
「CLUB PYRAMID」
2周年PARTY
ALL STAR Vol.2」
来場者；約650人



7月4日(土)「BLEND」約70人

7月11日(土)「EARDRUM」約40人

7月18日(土)
「夏だ！海だ！ピラミッド
ダーッ！BBQ PARTY」
来場者；約60人

7月25日(土)「DIGITAL FLAVOR'S」約60人



2009.07.26.SUN
START 20:00 入場料金 ¥1,500
みすみ港祭り 海上花火大会 20:45 ~ 21:15 (予定)
7月26日(日)「火の国レゲエ祭」(全席)
来場者；約250人
8月1日(土)「PYRAMID NIGHT」来場者；約50人



熊本市中心部の営業拠点として
秘密基地「AZITO」8月8日 開設

8月22日(土)「SCRATCH THE FACKIN NOISE」
来場者；約80人

8月29日(土)「FLAVOR NIGHT」約60人

9月5日(土)「奏～v o l . 2」約70人

9月12日(土)「FLAVOR NIGHT」約60人

9月19日(土)「EARDRUM」約40人

9月26日(土)「GOLDEN TIMES VOL.2」約80人

10月3日(土)「市役所カップvol.13
Free Style SOLO Battle」来場者；約120人

10月17日(土)「PYRAMID FREE NIGHT」約50人

10月24日(土)「PYRAMID FREE NIGHT」約40人



10月31日(土)「とらい★あんぐる セカンド」
来場者；約350人

11月7日(土)「PYRAMID NIGHT」約60人

11月14日(土)「PYRAMID NIGHT」約50人



フライヤー 5,000枚 製作&配布
&「うきなび」2009年12月号 掲載



12月19日(土)「Xmas Party」来場者；約150人
「くまにちタウンバケット」にも掲載

12月26日(土)「PYRAMID NIGHT」
来場者；約50人

2010年

1月9日(土)
「Joyfull」
約70人

2月6日(土)
「市役所カップ
“BREAKIN BATTLE”」
約130人

2月12日(金)
「中川文人&外山恒一
『ポスト学生運動史』
出版記念トークライブ
in熊本」 共催

2月13日(土)
「SNOW」
約80人



2月27日(土)
「とらい★あぐる
さーど」
約300人

3月20日(土)
「Funky a Go Go」
来場者：約150人

5月14日(金)
「だめ連トークイベント」
共催



5月15日(土)
「NEW STAGE」
来場者：約100人



6月12日(土)
「CLUB PYRAMID ♪
3周年EVENT ♪」
来場者：約200人



6月26日(土)
「とらい★あぐる
ふおす@1周年！」
約330人



2010年7-8月号 掲載



2010年7月
「みすみ港まつり」
熊日新聞 掲載

7月24日(土)
「花火大会&無料解放」
約200人



7月31日(土)
「GOLDEN TIMES」
約120人



8月7日(土)
「Joy full with
CityConnection」
約140人

8月14日(土)
「千坂 恭二&外山 恒一
トーク・ライブ」 共催

8月21日(土)
「お祭り！！！！」
@PYRAMID」
来場者：約120人



9月25日(土)
「NEW STAGE 2nd
&坂田かよ九州tour」
来場者：約150人



10月9日(土)
「とらい★あぐる
ふいふす」
約320人



11月6日(土)
「GOLDEN TIMES」
来場者：約100人

11月13日(土)
「ほね69フェス！！！」
約50人



2010年11-12月号 掲載



2010年12月12日 RKK主催
「Winter Groove」 協賛



12月25日(土)
「“JOYFULL ♪”
1st Anniversary
& X'mas Party」
来場者：約110人

12月31日(大晦日)
「とらい★あぐる
感謝祭'10」
約300人

2011年

1月、工藤 真工 氏、スタッフとして参画

映像作家、マルチメディア・クリエイター。

<http://www.saihate.com/>

東京など国内、海外のアーティスト、イベンター、オーガナイザーに
「海のピラミッド」をプロモート。



宇土半島の山中に約9,000坪の「三角エコ・ビレッジ」を2011年11月11日に開村。

2月、橋野 敦 氏による音響システム改修工事

3月、同氏による安全対策改善施工



大阪芸術大学芸術学部芸術計画学科卒

坂本龍一、高中正義、スティービー・ワンダー、UB40、
トッド・ラングレン、デベッシュ・モードなどの国内外の
有名アーティストの技術サポート。

芝浦「GOLD」(東京)、
国内最大級のクラブ「ageHa」(東京・新木場)
などのサウンド・エンジニアリングを担当。

その他、「アップル・コンピュータ本社」、「横浜みなとみらい21」などの
映像、音響システムを構築。

<http://www.meta-design.jp/>



2月19日(土)
「とらい★あぐる しっくすす」
来場者；約320人



8月27日(土)
「とらい★あぐる れいんぼー」
来場者；約300人



12月10日(土)
「とらい★あぐる 感謝祭・11」
来場者；約250人

三角のシンボル
クラブ、イベントスペース

おかげさまで4周年！

www.clubpyramid.jp
CLUB PYRAMID
海のピラミッド

日本最大級クラブ！

- 大音量サウンドシステム
- レーザー、照明システム
- VJスクリーン3面、映像システム
- ダンスフロア、ラウンジルーム

Tel.090-9481-7769

2011年7月22日「みすみ港まつり」熊日新聞 掲載

3.11 東日本大震災 福島原発事故

3月中旬～下旬、

東日本からの一時避難者、数十人を受け入れ

3月 復興チャリティーイベント

4月 復興チャリティーイベント



9月、
「安部芳裕 講演会」
への協賛、協力



4月23日(土)「t i e〜絆〜KIZUNA」約100人



4/23 東日本復興支援チャリティーイベント

協賛アーティストが集結、東日本復興のための募金を集めました。

8/10 0円サマーキャンプ

福島の子供達に解放、夏の思い出づくりに協力させて頂きました。

夜のクラブイベント会場としてだけでなく、
地域イベントやカフェ営業も計画！
地元の活性にも協賛していきます



福島の子ども、保護者招待

8月、「0円サマーキャンプ」への協賛・協力



TV Bros. (テレビブロス) 2011年11月12日号 [関東版／関西版／中部版／北海道版／九州版]

★東日本の放射能汚染は、僕らの想像を遙かに超えて深刻さを増していた。9月27日になって文科省が発表した広域汚染地図は、中でも衝撃的だった。チェルノブイリ原発事故では、3万7千ベクレル以上が「汚染地帯」とされ、一部で強制移住が行われたが、栃木、茨城の一部、群馬に至っては過半数が3万～6万ベクレル、それ以上の値で汚染されていたのだ。これが何を意味するのか、不安は底なしに広がる。9月18日付の九州の新聞「西日本新聞」には、震災後半年で九州の公立小中学高生が553人増えたという記事がある。その6割は被災3県の人々だが、残りの多くは関東圏からの脱出組だ。僕は3番目に転入数の多い熊本県に注目した。

熊本県といえば、熊本市内の古民家を買収した坂口恭平さん（建築家／作家）を抜きに語ることはできない。震災から約2ヶ月後の5月、古民家を「ゼロセンター」と名付けた坂口さんは、東日本からの避難者に無料開放した。当然取材申請をしたが、仕事でオランダにいた彼からメールの返信はなかった。諦めの悪い僕は、その後も取材を続行した。すると、熊本には「坂口恭平以降」とも呼べる移住者たちの繋がりが見えてきた。自らの頭で思考し、決断を下した人々。震災をキッカケに、既存の価値観を疑うことができた彼らは、移り住んだ先の熊本で、新たな社会を築こうとしていたのだった。

2011年11月、宇城市役所より年度末での退去通告以降、不当通告への抗議活動。

ふたたび「海のピラミッド」が宇城市役所によって廃墟に！

さらに税金の無駄遣いがされようとしています！

自治体へ払っている建物の使用料の未払いや滞延も一切ありません。

待合所としては失格

また、宇城市の目指す「待合所化」ですが、ピラミッドはお子さんや高齢の方など不特定多数の方が利用する「待合所」として不適格です。

空間は建築の大きさに対して完全に能力不足の汚染機のみ、暖房に至っては全く設備がありません。夏は暑い、冬は寒いのです。現在、イベント開催時は空調システムを稼働していますが、その稼働代は数時間1万円近くかかります。高さ2メートルを超える吹き抜け構造の建物を、誰にでも快適な状態に空調するには、初期の設備投資で数千万円、光熱費は1日数万円と莫大ランニングコストがかかります。

そして、乗客を販売する為の職員の人件費、島原行きのフェリー（車両も横転可）が廃止となって、今更、大車行きの人だけが乗れない船の為に、巨大な建物（面積300坪以上、4～6階建てのビル）に相当する高額の税金を投入して毎日稼働させる必要があるのでしょうか？現在行われているように、隣の物産館「ラッセル」でチケット販売すれば人員も減りますし、乗客がお土産を購入し物産館の売り上げアップも期待できます。管理者の宇城市は何がしたいのでしょうか。

市民の資産が再び「空き家」→「廃墟」へ

宇城市役員の話では具体的な計画はなく、ただ、「待合所に戻す」とのことです。このようなズサンな計画では、再びピラミッドが空き家となり閉鎖→廃墟になるのは火を見るより明らかです。

また、所有者である市民（現在は管理の為に宇城市が所有）は使用目的がなくなったからといって、取り壊しも出来ないそうです。書類上、減価償却が終わってようやく売却があるからです。無駄のままで維持補修費用が年々5年前の廃墟に匹敵するだけです。

本来は市民の資産である海のピラミッドに対して宇城市の管理者達は管理者として何がしたいのでしょうか。

会場費0円で市民に開放

現在のピラミッドの運営は、イベント開催時の料金の売上げだけでまわっています。

自治体へ払っている建物の使用料と光熱費もここから控除されています。運営はもとより、設備投資、人員も民間所有の知識と資金でまわっています。

宇城市民はもとより、熊本県民、そして、すべての人々に公平に開放されています。

市議員の発言によれば「待合所化」後は市民への貸し出しもしないそうです。（裏面へ）

突然の退去命令

ところが、今年の11月に突然、宇城市役所職員、

市長	新井 隆夫
副市長	新井 隆夫
市長補佐	高田 隆夫
副市長補佐	高田 隆夫
市長補佐	高田 隆夫
副市長補佐	高田 隆夫
市長補佐	高田 隆夫
副市長補佐	高田 隆夫

の4名の方より、「待合所に戻す」「年度末までに退去せよ」「交渉の余地はない」「共有ではない」「あとは弁護士と話し合え」「トブ（現宇城市長 種崎博之氏）の意向だ、従え」との理屈も無い一方的な通告を受けました。事前の話し合い、協議などもなくです。

来客者の安全の為にいったん退去のマークを「許可」を得ない改造、イベントの準備の為に作業を「申請日」時以外に使用し、当初の合意を反故にしての「条件違反」、音響・映像・照明設備の設置（音、ピラミッドにはマイク1本、スピーカー1台もない空き家）を「不法占拠」との一方的な言いかけです。

4年以上運営して、これまでケンカやケガなどのトラブルはなく、警察と救急車の出動は駐車場に起こった物損事故ただ1件のみ。

建設時からイベント会場としても計画

実は、いまから20年前の設計、建設時からフェリーの待合所としての機能の他に、イベント会場としても作られていたのです。フェリーの待合所としての目的は、不特定多数の来客と乗客であるのは、その為です。熊本新港の開港と建物の変化により、待合所としての役割は終わりましたが、もう一つの目的、「イベント会場」としては終わっていません。また、20年の時を経て地味な建物になりました。

復讐への望み

東日本大震災、それに続く、原発災害により、希望の地（九州）その中心の「熊本」その中心に位置する「宇城」その文化的象徴である「海のピラミッド」の重要性はますます大きくなるでしょう。

現在、私達は日本をまたいで以来の困難に遭遇し、人々がまだ経験していない事象の中にあつた。既に東日本、関東からの人々、九州、熊本、そして、宇城を目指して移住を始めています。

今回の震災と災害で多くの犠牲が失われ、数多くの人々の生活が奪われました。彼らに、彼らの為に私達がすることは、東日本の人々に安全な食糧を届け、復興を希望する故郷を無くした人々を温かく迎えることです。

それは同僚だけではなくあります。移住によって、少子高齢化を加速し、社会の活力を彼らの協力によって増やすことができ、日本復興の為に活動力と成ることが出来ます。再び日本を素晴らしい国として蘇らせることが、犠牲になられた方たちが望んでおられることと深く信じます。

皆様のご協力、ご支援、何卒、宜しくお願いいたします。

そして、未曾有の困難に襲われている人々のために、あなたにできること、あなたにしたいこと、できないことを成してください。そこから未来は開けるのです。

（注）個人の意見ではなく、福岡市の中心を構える我々の意見と見なされています。福岡市ではありませんが、一部の個人見解は述べさせていただきます。

海のピラミッド（宇城市三角）
CLUB PYRAMID 運営委員会

連絡先
メール: clubpyramid@gmail.com
ホームページ: http://www.clubpyramid.jp/

家族4人乗りの車海没

三角港
乗客4人乗りの車、心臓停止

亡くなった1人はイベント開催にも好意的で、逆風の中、苦戦する僕らに「応援するからがんばらせ」と言ってくれる人達の中の一人居た。大規模なイベントの時にはたに彼を乗りに来てくれました。私達がもっと早くに着手し、もっと早くに成果を出せば、この悲劇が起こる日はもっと遅く、あるいは、なかったかもしれません。この事件が起きた年の秋頃から来客者が数百人のイベ

「施設内部は、イベント対応型ですので、コンサート、展示会、展覧会、物産販売等もできるようになっていますので、創意工夫により、三角港の賑わい空間の演出にも役立つものと思われます。」～開業当時の公式パンフレットより～

この「海のピラミッド」は「くまもとアートポリス構想」の元、建設された県民全員の資産です。利用方法を一緒に考えてみませんか。そして県民は常に自由に使えるはずのものなのです。

21年前の開業時からの使用目的「フェリーの待合所」と「イベント会場」。フェリーが廃止になり「フェリーの待合所」として終わり、いままた、「イベント会場」としても終わらせられようとしています。

そして、その後は管理者である宇城市の一部の役人によれば「待合所」。いったい「何を待つ？」のでしょうか？待合所になるまでは皆さんが自由に使用、

宇城市の一部の役人が主張する待合所になると自由に使えなくなるとは、おかしい話なのです。

何に使うかは県民のみなさんが決めることです。
皆さんの声を届けてください。

「海のピラミッド」

【所有者】熊本県

（県庁／〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号 ☎096-383-1111）

【管理者】宇城市

（市役所／〒869-0531 熊本県宇城市松橋町大野85 ☎0964-27-9000）

【運営者】「海のピラミッド／CLUB PYRAMID 運営委員会」

熊本県宇城市三角町三角浦1160-177 【熊本事務所】熊本市新市街6-20
clubpyramid@gmail.com ☎090-9481-7769



公式ホームページ

<http://www.clubpyramid.jp/>

メール

clubpyramid@gmail.com

非公式 [海賊版] サイト

<http://web.mac.com/coसानostrajapan/>

電話

090-9481-7769

